

国際研究交流の推進に要する経費

【60(50)百万円】

対策のポイント

国際共同研究やワークショップの開催を通じて国際的な研究ネットワークを強化するとともに、国際農業研究機関等と協力して若手研究者の人材育成を図ることで、国際的な研究交流を推進します。

(国際研究交流がもたらす成果)

- ・ 国際研究交流ネットワークの構築と共同研究の推進により、食と農の安全に関する問題について研究情報の共有が図られ今後の対策に活かされます。
- ・ 海外で活躍する日本人研究者が若手アフリカ人研究者を育成することにより、日本人の行う研究が現地に効率的に波及するとともに、アフリカ農業研究分野の人材育成に貢献します。
- ・ 学生を対象とするものからポストドクターや独立行政法人等の研究者向けなど、それぞれの年代及びキャリアに応じた体系的な人材育成プログラムの構築により、将来の国際農業研究を担う日本人研究者を育成します。

政策目標

- 食と農の安全を脅かす問題に対処する国際的な研究交流ネットワークの構築
- 我が国研究者によるアフリカを対象とした研究成果の効率的な波及と若手アフリカ人研究者の育成
- 国際共同研究をより効率的・効果的に実施するための人材を育成

<内容>

1. 食と農の安全確保のための多国間研究交流ネットワーク事業(継続:H17~21)
国境を越えて広がる食と農の安全を脅かす問題に対する研究開発を推進するため、国際共同研究やワークショップを通じて多国間の研究交流ネットワークの構築を図ります。
2. アフリカ農業研究者能力構築事業(継続:H18~22)
アフリカに関連した国際農業研究機関等において共同研究を行っている我が国の研究者の下にアフリカの若手研究者を招へいし、研究成果・技術の伝達とアフリカの研究者の能力構築を一体的に実施するためのオン・ザ・ジョブ・トレーニングを実施します。
3. 国際共同研究人材育成推進・支援事業(新規:H21~25)

我が国の若手研究者を国際農業研究機関に派遣し、将来の国際研究交流や海外との共同研究を遂行するための能力を備えた研究者等の育成を推進します。

[担当課：農林水産技術会議事務局国際研究課（03-3502-7466）]